

創刊100号記念 特別座談会

産業保健の四半世紀 6

相澤 好治	『産業保健21』編集委員長 北里大学名誉教授	半田 有通	(一社)日本ボイラ協会専務理事
大久保 利晃	労働安全衛生総合研究所 研究推進・国際センター特任統括研究員	松本 吉郎	(公社)日本医師会 常任理事
櫻井 治彦	(公社)日本作業環境測定協会会長	【誌上参加】 河野 慶三	河野慶三産業医事務所

I 産業保健支援体制の変遷	6
1. 整備の時代	7
2. 整理・仕分けの時代	8
3. 再構築と発展の時代	10
II 記憶に残る重大事件	11
1. ダイオキシン、アスベスト、職業性胆管がん	11
2. 自殺者急増、電通事件の最高裁判決	14
3. 東海村 JCO 臨界事故、福島第一原子力発電所事故	16
III 近年のキーワード	17
1. 医師の働き方改革	17
2. 治療と仕事の両立支援	17
3. リスクアセスメント	19
4. 受動喫煙対策	21
5. メンタルヘルス、ストレスチェック	21
6. THP と健康経営	23
IV 産業保健スタッフの役割	24
1. 産業医大「産業医学基本講座」	24
2. 産業医の国際基準はこうして生まれた	24
3. 産業医を支援する全国的な組織を	25
4. 地域中心に健康データをもう一度つなぎなおす	26
5. 産業医は選べない	27
6. 産業保健師の活躍	28
産業保健の歴史年表 1972-2020	2
産業医の誕生から働き方改革関連法・受動喫煙防止法まで	
創刊100号に寄せて	29
編集委員長 相澤好治	

